



学校だより

3月号

横浜市立六つ川台小学校
令和5年2月28日

URL: <http://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/mutsukawadai/>
E-mail: ky-e-mutudai@city.yokohama.jp

成長し続けよう

校長 本間 明

昔——、といっても私が小学生のころですが、脳については次のように考えられていました。

「脳はある年齢になると成長が止まり、それからはおとろえる一方である」

当時言われていたその「ある年齢」というのは大体20歳ぐらいでした。体の成長も大体それぐらいで落ち着きますが、脳の成長についても同様に考えられていたのですね。

小学生のころ、その話を聞いた私は軽くショックを受けたのを覚えています。

人間って、60歳や70歳まで生きるのに、20歳でもう脳がおとろえ始めてしまうのかと。

ただ——、実はそうじゃなかったというのが、最近の考え方です。

人間の脳は、いくつになっても成長することができるそうです。たとえ80歳や90歳からでも、知らないことを学び、新しいことに挑戦することで、脳は能力を高め続けることができるのだそうです。

人生100年時代と言われて久しいですが、この情報は、人生100年時代を生きる我々にとって希望を与えてくれる考え方だと感じました。何歳になっても、その気になれば成長し続けることができるというのは、うれしいことだと思いませんか。

特に今は、変化のはげしい時代です。情報があふれている時代です。現代人が1日に受け取る情報量は、江戸時代の日本人の1年分、平安時代の日本人にいたっては一生分だそうです。今はそんな目まぐるしい世の中なので、小学生だって大人だって、誰だって常に脳を成長させ続けていかなければ、生きていくのは大変です。知らないことが次々出てくるでしょうが、それを覚え、新しいことにチャレンジすることで、私たちもまた自分自身を成長させていきたいものです。

「繰り返し続ける」「楽しく取り組む」——物事を身に付けるにはこの2つがいいそうです。最近「繰り返し」よりも「楽しく」に重きが置かれるようになってきました。楽しく練習に取り組んできた駅伝チームや高校野球チームが優勝したというような話を聞くようになりました。これも昔は聞かなかったことです。昔は、つらくても努力を繰り返し続けるべきなのだという考え方を聞きしたものでした。

4月から進級・進学する六つ川台小の子どもたち。これからも、いろいろな新しいことに興味をもち、楽しくチャレンジするような人間に育ってほしいです。

特に春からはいろいろと制限されていたことが緩和され、世の中も大きく変わっていくことでしょう。とまどうこともあるでしょうが、社会の変化にもだんだん慣れて、そんな世の中を生き生きと生きていく人であってくれたらと願っています。